

DRV-610

スタンダードドライブレコーダー

取扱説明書<詳細版>

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



メモリーカードについてのご注意

- メモリーカードは定期的にフォーマットしてください。
- メモリーカードは消耗部品であり、寿命があります。SDエラーが出る場合にはメモリーカードの寿命が考えられますので、新しいSDカードと交換してください。
※推奨SDカード：KNA-SD8A/KNA-SD16A/KNA-SD32A
詳しくは当社ホームページでご確認ください。
http://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option/sd/
- メモリーカードの寿命に起因する故障または損害については、当社は一切の責任を負いません。

My-Kenwood（ユーザー登録）のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwoodをご利用ください。
<https://jp.my-kenwood.com>

目次

安全上のご注意	4	KENWOOD ROUTE	
使用上のご注意.....	8	WATCHER II	28
使用上のご注意.....	8	録画ファイルの再生	28
GPS について	8	設定を変更する.....	30
メモリーカードについて	8	メニューを表示する	30
記録時間の目安（バッテリー満充電時）.....	8	記録時間の設定を変更する.....	33
充電時間の目安.....	8	故障かな？と思ったら	35
ご使用になる前にお読みください.....	9	FAQ（よくあるご質問）	38
もしものときは.....	9	主な仕様	39
各部の名称とはたらき	10	保証とアフターサービス	40
本機のセットアップ	13		
Step1: 本機の取り付け / 配線.....	13		
付属のシガープラグで接続する.....	14		
CA-DR150（別売品）で接続する	15		
Step2: メモリーカードを挿入する ..	16		
Step3: 駐車モードをオンにする	17		
Step4: 安全支援機能の設定.....	19		
カメラ位置、ボンネット位置の調整と			
機能をオンにする.....	19		
安全支援機能について	20		
安全支援機能使用上のご注意.....	21		
本機の録画機能について	22		
機能1：常時録画（連続録画）.....	22		
機能2：イベント記録.....	22		
機能3：駐車録画.....	23		
機能4：写真を撮影できます	23		
録画ファイルを再生する	24		
録画ファイルをイベントフォルダに			
移動する	25		
録画ファイルをコピーする.....	26		
録画ファイルを削除する	27		


安全上のご注意 (必ずお読みください)


本機の取り付け、配線、操作を始める前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。


 **危険** 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。


 **警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

 注意 (しなければならない)の内容です。

 禁止 (してはいけない)の内容です。

 実行 (かならず行っていただく)の内容です。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

内蔵電池について (本機は充電式電池を内蔵しています)

危険



本機(内蔵電池)の取り扱いに注意する

本機は充電式電池を内蔵しています。次のことを必ず守ってください。

- 分解・改造しない
- 加熱したり、火の中に入れてたりしない
- ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に放置しない
内蔵電池が発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池を過熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れてない
- 内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない
- 内蔵電池のコネクターに絶縁テープを貼る
発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。

警告



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない
- 内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける
けがや事故の原因となります。

取り付けや配線について

警告



本機はDC12V/24V \ominus アース車以外で使用しない

火災や故障の原因になります。DC12V/24V \ominus アース車以外で使用しないでください。

エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバックが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバック装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを絶対に使用しない

交通事故やケガの原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

本機は保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない

視界不良や本機が外れて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするとうるに重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ネジなど小物部品やメモリーカードは乳幼児の手の届かないところに置く

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

本機に付属のシガープラグコードを使用する

付属以外のシガープラグコードを使用すると、火災、感電の原因となります。

シガープラグは、確実に差し込む

確実に差し込めない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。

シガープラグを抜くときは、プラグを持って抜く

コードが破損し火災、感電の原因となります。

使用後または長時間使用しないときは、シガープラグを抜く

車種によってエンジンを切ってもシガーライター電源が切れない場合があります。火災やバッテリー上がりの原因となります。

シガープラグは定期的に清掃する

ほこりが付着していると火災の原因となります。



ぬれた手でシガープラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

注意



水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

⚠ 警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理・改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようご注意ください。

故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してシガープラグを抜いてください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源コードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご依頼してください。

⚠ 注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



走行前に本機の取り付け状態を点検する

本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

⚠ 警告



異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

⚠ 注意



落としたり使用を中止する

機器を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷している恐れがありますので、使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

使用上のご注意

- ・カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- ・自動車のフロントガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- ・本機が応答しない場合は、電源を入れなおしてください。電源を入れなおすには本機の上面にあるリセットボタンを先端が細い爪楊枝等で押して電源を切ります。電源ボタンを押すと本機の電源が再度オンになります。
- ・本製品はあらゆる状況においての映像の記録を保証するものではありません。
- ・LED信号機には消滅の間隔を短くすることで対応していますが、撮影時の天候や時刻等の要因により点滅の間隔が変わります。また信号機の識別や記録に関して、当社は一切の責任を負いません。

GPS について

- ・GPS は、GPS の性能について全責任を負う、米国政府によって運営されています。GPS システムへの変更は、すべての GPS 装置の精度に影響を与える可能性があります。
- ・GPS衛星信号は、個体物体(ガラスを除く)を通過することができません。トンネルや建物の中にいる場合、GPS測位は使用できません。信号の受信は、悪天候や密集した頭上の障害物(例えば、トンネル、2層構造の建造物、樹木、高層ビルまたは高架橋)などの影響を受ける可能性があります。
- ・GPS 測位データは、参考値です。

メモリーカードについて

- ・パソコンやデジタルカメラなど、他の機器でメモリーカードのフォーマットまたは編集を行うと、本機で正常に動作しない可能性があります。本機で、メモリーカードのフォーマットおよび設定を行ってください。
- ・本機のデータ読み取りおよび書き込み速度は、メモリーカードの仕様によって異なる場合があります。
- ・メモリーカードは、分解したり改造を行わないでください。
- ・メモリーカードの上に物を置いたり落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- ・メモリーカードの端子部分を指で触ったり、金属片で引っかけたりしないでください。
- ・メモリーカードは常に清潔で乾燥した場所に保管し、高温高湿の場所で放置しないでください。
- ・メモリーカードのデータが壊れる可能性がありますので、記録中や再生中にメモリーカードを取り外さないでください。
- ・メモリーカードには書き込み可能回数などの製品寿命があります。使用状況に応じて定期的に新品に交換することをお勧めします。
- ・メモリーカード内の必要なファイルは必ずパソコンなどにバックアップ(コピー)をしてください。
- ・メモリーカードの使用状況によっては、保存内容が失われる可能性があります。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

記録時間の目安 (バッテリー満充電時)

駐車モード待機時間:約 15 分
常時録画時(連続録画時間):約 5 分

充電時間の目安

付属のシガープラグ使用時:約 3 時間

※購入直後はバッテリーが十分に充電されていません。その場合、動作が不安定になったり、駐車録画が出来ない場合があります。十分に充電してから使用を開始してください。

ご使用になる前にお読みください

■ 電源について

本機の動作電源電圧はDC5Vです。必ず付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR150(別売品)を取扱説明書にしたがって接続してください。ケーブルの改造(バッテリーに直接つなぐ)なども絶対に行わないでください。

■ SD スロットについて

本機のSDスロットは「1」と「2」があります。
SD スロット1：録画用のメモリーカードを挿入します。
SD スロット2：ファイルをバックアップするときに使用します。
(市販のメモリーカードの購入が必要になります。)
メモリーカードがSDスロット「1」に挿入されていないと正常に動作しません。

■ メモリーカードのフォーマットについて

本機はFAT32以外でフォーマットされたメモリーカードは使用できません。
基本的には本機でフォーマットを行ってください。(34 ページ)

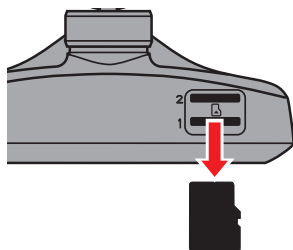
■ 本機起動時のご注意

本機は電源を入れて起動したときにGセンサーの補正を行います。そのため正しく使用できる状態に調整、取り付けを行ったあとに本機の電源を入れてください。

もしものときは

もしものときは

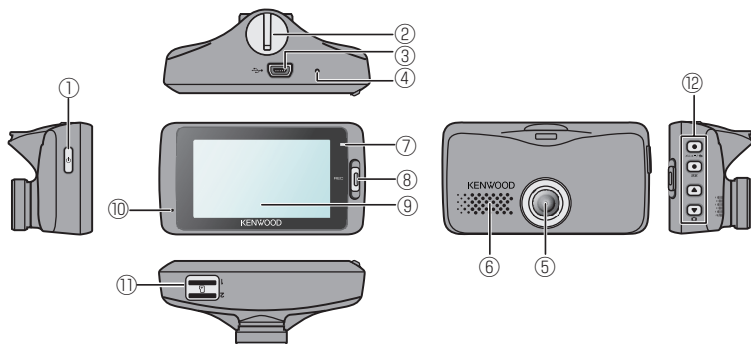
録画ファイルが上書きされないように本機の電源をオフにしてメモリーカードを取り出してください。



メモリーカードを押し少し飛び出たら引き抜きます。

各部の名称とはたらき

本機の基本的な操作方法と設定方法について記載しています。



- ①電源ボタン 押すと電源オンになります。2秒以上押し続けると電源をオフします。電源オンのときに押すと、画面表示がオフになります。
- ②取付ブラケット挿入部
- ③ミニ USB 端子(DC5V)
付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR150(別売品)を接続します。(15 ページ)
USBケーブル(市販品)を経由してパソコンとも接続することができます。(28 ページ)
- ④リセットボタン 本機をリセットします。
- ⑤カメラレンズ
- ⑥スピーカー
- ⑦インジケータ 本機の動作状態を3色(緑色/橙色/赤橙色)のLEDで表示します。

インジケータ表示と動作状態

電源供給状態	充電状態	動作	インジケータ
電源供給あり	充電中	記録時	緑色 ■ / 橙色 ■ 点滅
		記録停止時	緑色 ■ 点灯
	フル充電	記録時	赤橙色 ■ 点滅
		記録停止時	消灯
電源供給なし	—	記録時	赤橙色 ■ 点滅
		記録停止時	赤橙色 ■ 点灯

- CA-DR150使用時も上記の表と同じLED表示となります。
本機が動かなくなった場合には、本機の上面にある④リセットボタンを押してください。

- ⑧イベント記録ボタン 手でイベント記録を開始します。



⑨液晶画面

⑩マイク 録音中の音声を収録します。

⑪SDスロット1/SDスロット2 メモリーカードを挿入します。(16 ページ)

⑫操作ボタン

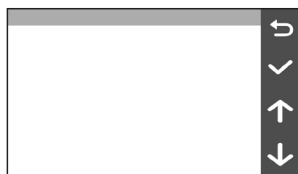
4つのボタンの機能を、画面に表示されるアイコンで表しています。ボタンの機能は表示している画面によって異なります。

録画画面の一例



- メニュー / ➡ : 設定メニューを表示します。
- 決定 : 手で駐車モードを起動します。*
* 駐車モード設定をオンにした時のみアイコンが表示されます。(17 ページ)
- カーソルを上に移動します。
- カーソルを下に移動します。

メニュー画面の一例



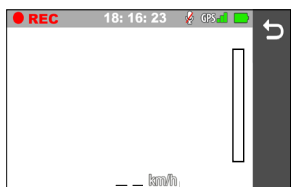
- メニュー / ➡ : 一つ前の画面に戻ります。
- 決定 : 決定します。
- カーソルを上移動します。
- カーソルを下移動します。



- メニュー / ➡ : 一つ前の画面に戻ります。
- 決定 : 決定します。
- カーソルを左に移動します。
- カーソルを右に移動します。

< 駐車モード (録画中) 画面 >

・ 監視中は ●REC が消灯します



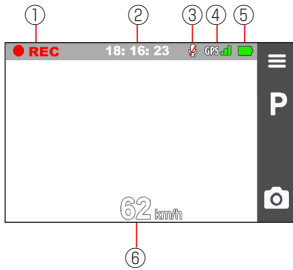
- メニュー / ➡ : 駐車モードを解除します。
- 決定 : 駐車録画中のとき:
「駐車モード中動体を撮影しました。再生しますか?」と5秒間表示され、記録が停止します。メッセージ表示後に「常時録画開始」と表示され、常時録画を開始します。5秒以内に「メニュー / ➡」ボタンを押しても「録画開始」と表示され、常時録画を開始します。5秒以内に「決定」ボタンを押すと駐車録画ファイル選択画面を表示します。
- カーソルを上移動します。
- カーソルを下移動します。

駐車監視中のとき:

「駐車モードで録画中ですが駐車モードを終了してもよろしいですか?」と5秒間表示され、駐車監視が解除されます。メッセージ表示後に「常時録画開始」と表示され、常時録画を開始します。5秒以内に「決定」ボタンを押しても「録画開始」と表示され、常時録画を開始します。「メニュー / ➡」ボタンを押すと駐車監視モードになります。

アイコン

<常時録画画面>



本機の動作状態をアイコンで表示します。

- ① 録画中に表示され ● が点滅します。
- ② 現在時刻を表示します。
- ③ 音声記録設定（同時記録）がオフ（無効）時にアイコンを表示します。オン（有効）時は表示しません。（30 ページ）
- ④ GPS 受信状態を示します。

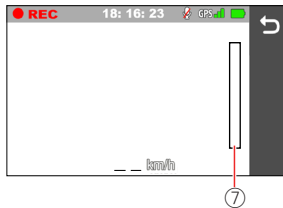
アイコン	状態
	信号レベル: 3
	信号レベル: 2
	信号レベル: 1
	信号レベル: 0

- ⑤ バッテリー残量を表示します。充電中はマークが切り替わります。

アイコン	状態
	充電中
	緑(満充電)
	緑(2/3)
	緑(1/3)
	赤(点灯:残りわずか)
	赤(点滅:まもなく電源オフ)
	充電無し

- ⑥ 現在の速度を表示します。（32 ページ）
距離単位はメートル (km/h) またはマイル (mph) を選択できますが表示を消すことはできません。

<駐車モード（録画）画面>



- ⑦ 「駐車モード」 - 「検出方法設定」の「動作&衝撃検出」または「動作検出」を選択した場合の検出レベルを表示します。（31 ページ）

<駐車モード（監視）画面>



本機のセットアップ

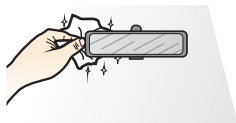
<本機をご使用になる前に必ず実行してください。メモリーカードは挿入していない状態でセットアップを開始してください。>

Step 1: 本機の取り付け/配線

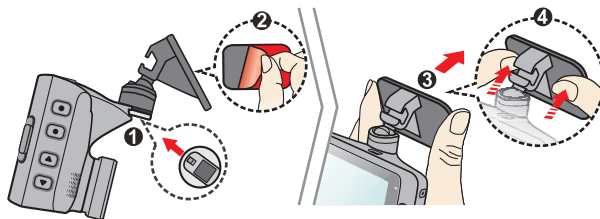
- ・フロントガラスの上部から20%の範囲以内に取り付けてください。
- ・運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・ワイパーのふき取り範囲に入るように取り付けてください。
- ・ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・車検証ラベル等に重ならないよう注意して取り付けてください。
- ・他の車載機器(安全支援システム用カメラや防眩ルームミラーなど)に影響を与えない位置に取り付けてください。詳しくは車両の取扱説明書を参照ください。
- ・運転やエアバッグ動作の妨げにならないよう注意して取り付けてください。
- ・きれいに録画するために、ルームミラーの近くに本機を配置することをお勧めします。
- ・車のフロントガラスが、反射コーティングで着色されている場合、電波を伝えにくくなり、GPS 受信に影響を与える可能性があります。

1 車が水平な場所に駐車していることを確認する

2 設置する場所を市販のクリーニングクロスなどで汚れや脂分を取り除く



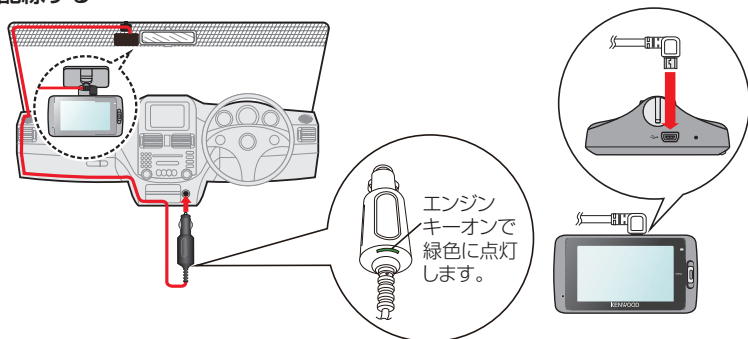
3 以下の手順に従って、本機を車内にしっかりと取り付ける



貼り付け位置を確認して貼り付けます。粘着テープの取付強度を強くするため、取付後24時間以上放置してから使用してください。

付属のシガープラグで接続する

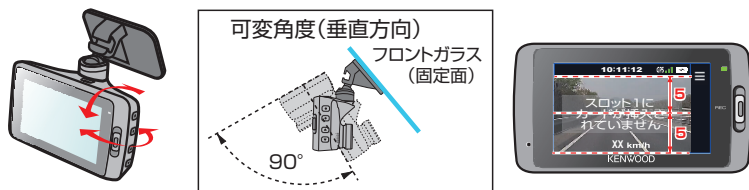
- 1 付属のシガープラグをシガーライターに接続して本機に電源コードを接続し、配線する



電源がオンになり充電が始まります。

- 2 取り付け角度を調整する

実際使用するとき、カメラの視野が水平な地面と平行であり、また地上と空の比率が約5対5であることを確認してください。



- 3 保護シートをはがす



保護シート

CA-DR150 (別売品) で接続する

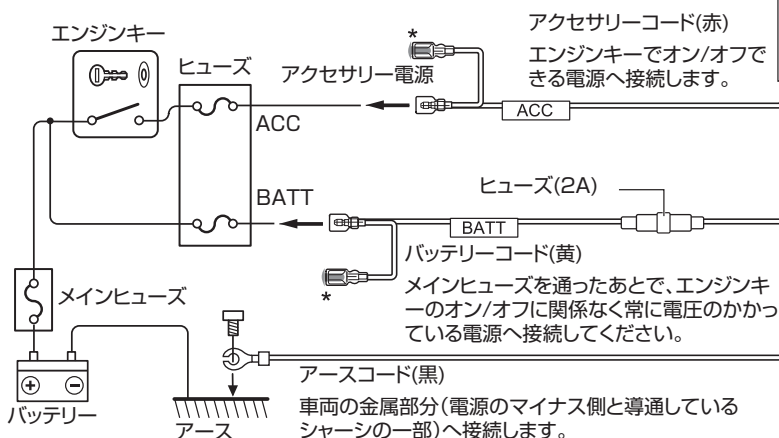
- 接続をする前に CA-DR150 (別売品) に付属の取扱説明書に記載されている「安全上のご注意」、「使用上のご注意」をよくお読みいただき安全に取り付けてください。また、スイッチ設定、配線についても事前にお読みください。

1 「電圧カットオフ値設定」と「オフタイマー設定」を設定する

CA-DR150 (別売品) に付属の取扱説明書内、「スイッチ設定」をお読みになり必ず設定してください。

2 配線する

アクセサリ電源がオンになっても電源電圧(12V/24V)を判定するためドライブレコーダーへの5V供給は一定時間(約20秒前後)経過後開始されます。



3 取り付け角度を調整する(14 ページ)

実際使用するとき、カメラの視野が水平な地面と平行であり、また地上と空の比率が約5対5であることを確認してください。

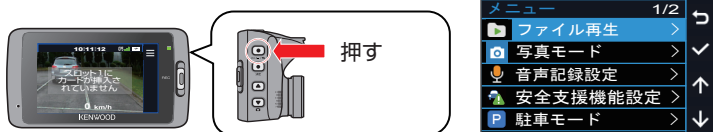
4 カメラレンズの保護シートをはがす (14 ページ)

Step2:メモリーカードを挿入する

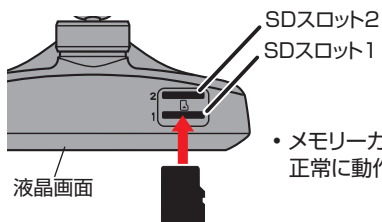
- メモリーカードを挿入するときは、通信していないときに出し入れしてください。

1 「メニュー/ ➡」ボタンを押してメニューを表示する

- メニュー表示中は通信していません。



2 メモリーカードをSDスロット「1」に挿入する



- メモリーカードがSDスロット「1」に挿入されていないと正常に動作しません。

メモリーカードを取り出すときも、メニューを表示してメモリーカードを押して少し飛び出たら引き抜きます。

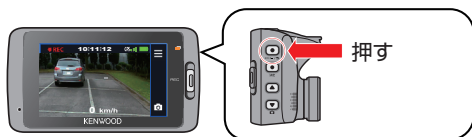
- SDスロット「1」にメモリーカードを挿入したときに「記憶域の割り当ての設定」が現在の設定と異なる場合は、「新しいSDカードを検出しました。SDスロット1のカードをフォーマットします。」と表示され、「決定」ボタンを押すとフォーマットを開始します。「メニュー/ ➡」ボタンを押すと、「他のSDカードを入れてください。」と3秒間表示され、電源がオフになります。その場合は「メモリーカードをフォーマットする」(34ページ)。または別の本機で使用できるSDカード(39ページ)を挿入してください。

Step3: 駐車モードをオンにする

駐車モードを使用しない場合は、設定を「オフ」のままにしておいてください。

- 別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR150を接続している場合は、設定を「オフ」のままにしているとエンジンキーをオフにするとCA-DR150のタイマー設定時間の間は常時録画が継続されます。(15 ページ)

1 「メニュー/」ボタンを押してメニューを表示する



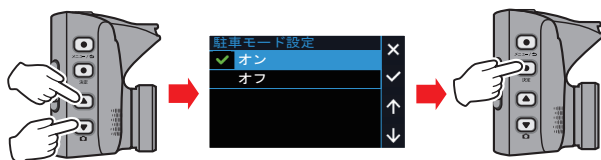
2 「駐車モード」を選ぶ



3 「駐車モード設定」を選ぶ



4 「オン」を選ぶ



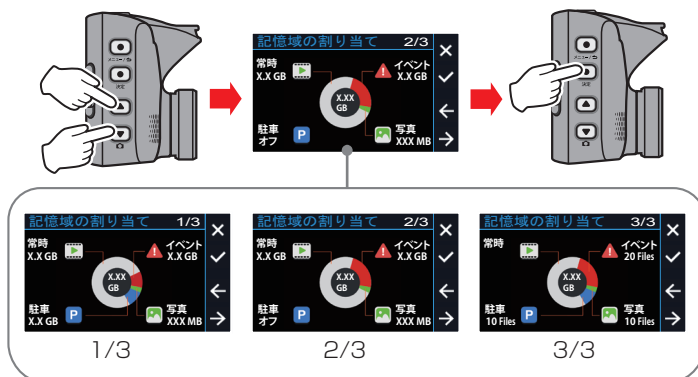
5 「決定」ボタンを押す



6 記憶領域の割り当てを設定する

初期値は2/3に設定されています。

- ・駐車モードを使用する場合は必ず1/3または3/3に設定してください。
- ・割り当てを変更するにはフォーマットが必要です。設定を変更する前に必要な録画ファイルをパソコンにバックアップすることをお勧めします。



記憶領域の割り当て	メモリーカード容量	常時（録画）	イベント（記録）	駐車（録画）	写真
1/3 容量で割り当て	4GB	約20分	約2分	約1分	約50枚
	8GB	約40分	約5分	約3分	約100枚
	16GB	約1時間20分	約10分	約7分	約200枚
	32GB	約2時間50分	約20分	約15分	約400枚
2/3 容量で割り当て (初期値設定) お買い上げ時に 設定されています。	4GB	約20分	約2分	0分	約50枚
	8GB	約40分	約5分	0分	約100枚
	16GB	約1時間20分	約10分	0分	約200枚
	32GB	約2時間50分	約20分	0分	約400枚
3/3 ファイル数で割り当て (常時は他のファイルの 残り容量によります。)	4GB	約20分	20ファイル	10ファイル	10ファイル
	8GB	約40分			
	16GB	約1時間20分			
	32GB	約2時間50分			

- ・記憶領域の割り当ての設定変更は、設定メニューの「システム設定」－「記憶領域の割り当て」から行います。割り当てを変更するとメモリーカード内の録画ファイルが消去されます。設定を変更する前に必要な録画ファイルをパソコンにバックアップすることをお勧めします。
- ・記録時間及び写真撮影枚数は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。
- ・録画は記憶領域がなくなると古い録画ファイルを消して録画し続けます。
- ・写真は、「録画設定」の「解像度設定」の「1080p/1296p」で保存されます。

7 「SDカードをフォーマットします。全てのデータが消去されますが続けますか?」と表示されたら、「決定」ボタンを押す。

フォーマットが開始され、駐車モードが「オン」に設定されます。

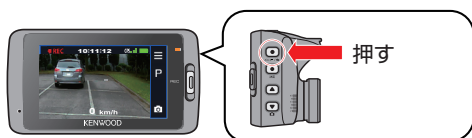
Step4:安全支援機能の設定

安全支援機能を使用する場合は、「カメラ位置」、「ボンネット位置」の調整と安全支援機能「車線逸脱警告」、「前方衝突警告」、「発進遅れ警告」の設定を「オン」にする必要があります。

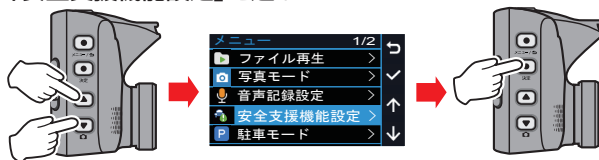
カメラ位置、ボンネット位置の調整と機能をオンにする

- 見通しの良い、平らな安全な場所に車を停車させて調整してください。

1 「メニュー/」ボタンを押してメニューを表示する



2 「安全支援機能設定」を選ぶ



3 「カメラ位置調整」を選ぶ



以下の手順でカメラ位置およびボンネット位置を調整する

1) カメラの位置調整

カメラを上下に傾けて、赤色の線を地平線の高さに合わせる
カメラを左右に動かして、緑色の線が走行車線の中心にくるように合わせる
調整後、「決定」ボタンを押して決定する



2) ボンネット位置調整

画面に表示されている青線がボンネットの先端にくるように、「▲」/「▼」ボタンを押して調整する

- ボンネットが見えない場合は、停車時に前方約3m先の路面に青線がくるように調整してください。

つづく➡

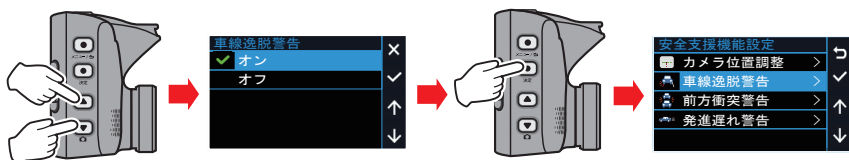
調整後、「決定」ボタンを押して決定する



4 設定する安全支援機能を選ぶ (例:「車線逸脱警告」の場合)

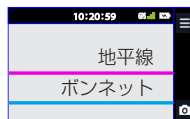


5 「オン」を選ぶ



他の機能(「前方衝突警告」/「発進遅れ警告」)を設定する場合は、手順4と5を繰り返します。

- ・「車線逸脱警告」と「前方衝突警告」をオンに設定すると、エンジンキーをオンにしたときに地平線(赤線)、ボンネット(青線)が数秒間表示されます。



安全支援機能について

車線逸脱警告：

走行中の車線を逸脱した際に警告音を鳴らします。動作条件は約60km/h以上で走行中に動作、速度が約60km/h以下、逆光、雨天、走行レーンの汚れなど、条件によっては正しく動作しません。



前方衝突警告：

走行中に前方車両と約5km/h以上の速度差がある状態で接近した場合に警告音を鳴らします。



発進遅れ警告：

信号などで停車中に前方車両が発進して離れてしまった場合、約3秒後に警告音を鳴らします。なお、交差点などで先頭に停車した場合、前方を横切る人や車にも反応するため、警告音の音量を調整したいときは「システム設定」の「音量設定」で調整してください。



安全支援機能使用上のご注意

- 車両を平らで見通しの良いところに駐車して、カメラの角度、向きを必ず調整してください。またカメラの位置がずれることで安全支援機能が正しく動作しません。調整後はカメラをしっかり固定してください。
- ドライバーが運転中に調整することは絶対に行わないでください。安全な場所に停車して調整するか、同乗者が調整を行ってください。
- 安全支援機能は、ドライバーの運転をサポートするもので、事故を未然に防ぐものではありません。またすべての危険を通報するものではありません。
- 運転時は交通ルールを守り、前方車両との車間距離や周囲の状況、運転環境に注意して必要に応じてブレーキをかけるなど安全運転に努めてください。また、本機の取扱説明書に従って、正しく使用していた場合でも、動作を完全に保証するものではありません。万が一、それに伴う損失が発生しても当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 車線逸脱警告はウィンカーと連動しないため、本機の仕様上、道路で車線を変更するときにも警告音が鳴ります。
- 以下のような場合は、安全支援機能が正しく動作しない場合があります。
 - 舗装の劣化や降雨時の反射、建物の影などにより車線が正しく認識できない場合。
 - 前方車両の形状や色、光の加減などによって認識できない場合。
 - 天候（雨・雪・濃霧など）、時間帯（朝方・夕方・夜間など）、逆光、交通状況（渋滞・歩行者など）による変化。
 - フロントガラスに映り込みがあると正しく動作しないことがあります。ダッシュボードに物などを置かないでください。

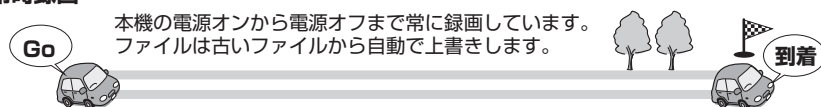
本機の録画機能について

本機の録画機能は4つあります。
電源がオンになると常時録画（機能1）を開始します。
また、電源オン時に衝撃を検知するとイベント記録（機能2）を行います。
本機の電源がオフのときは駐車モードで駐車録画（機能3）ができます。
その他の機能として写真も撮影することができます。（機能4）
▪ ドアを閉めた時の振動を検出して、録画を開始する場合があります。

機能1:常時録画(連続録画)

もしもに備えて走行中の映像を常に録画します

常時録画



エンジンキーをオンにすると本機の電源が入り、数秒後に自動的に常時録画（連続録画）が始まります。常時録画ではファイルを分割して保存しています。録画領域がなくなると古いファイルから自動で上書きして録画を続けます。



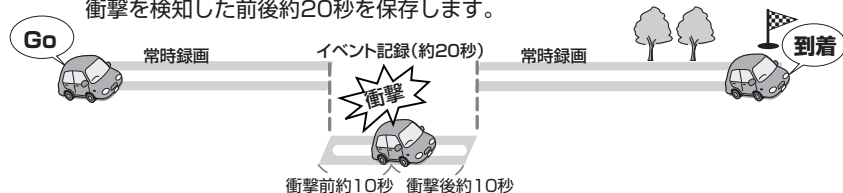
- 常時録画ファイルは「Video」フォルダに保存されます。（34 ページ）
- 設定メニューの「録画設定」－「記録時間設定」で1ファイルの録画時間を設定できます。お買い上げ時は3分に設定されています。（32 ページ）

機能2:イベント記録

走行中に衝撃を検知したら録画します

イベント記録

本機が衝撃を検知すると常時録画からイベント（衝撃）記録に切り替わり、衝撃を検知した前後約20秒を保存します。



突発的な衝撃、急加速、急ターン、予期しない衝突などを検知してイベントを記録します。イベント記録を手動で始動させたい場合は「イベント記録」ボタンを押します。イベント記録が完了すると常時録画（連続録画）に戻ります。

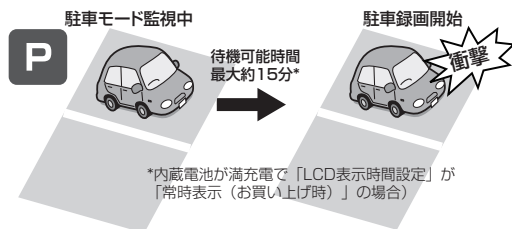
- イベント記録ファイルは「Event」フォルダに保存されます。（34 ページ）

機能3: 駐車録画

駐車中も衝撃および動体を検知したら録画します

駐車録画

駐車場などに車を停めて本機の電源がオフになってから約15分*の間に衝撃および動体を検知すると録画を開始します。録画ファイルは古いファイルから自動で上書きします。「自動起動設定」を「高」/「中」/「低」のいずれかに設定している場合は、約5分間車両に振動が加わらなかった場合、駐車中と判断し、駐車モードが起動します。駐車モード中に一定時間振動が加わると駐車モードを解除します。



- 駐車録画機能を使うときは「本機のセットアップ」の Step3 「駐車モードをオンにする」(17 ページ) を参照して設定してください。

駐車モードでは車両の衝撃およびレンズ範囲内の動体を監視します。監視中に車両への衝撃および動体を検知すると駐車録画ファイルとして前後約 20 秒を保存します。

- 駐車録画ファイルは「Parking」フォルダに保存されます。(34 ページ)
- 駐車録画は衝撃・動体検知により最大 60 秒まで延長します。
- 衝撃や動体を検知してから数秒後に駐車録画が開始されます。
- 監視方法については設定メニューの「駐車モード」→「動作検出感度設定」と「衝撃検出感度設定」で感度を設定できます。(31 ページ)

■ 駐車録画機能をもっと長く使用したいときは

別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR150を使用して駐車モードをオンにしてください。

- 駐車時の常時録画を行うには、自動起動設定を「手動」にしてください。駐車モードに移行せずに上書きしながら「オフタイマー設定値」まで連続して「Video」フォルダに記録します。

機能4: 写真を撮影できます

表示している映像を写真として保存することができます。



- 写真は「Photo」フォルダに保存されます。(34 ページ)
- 写真は古いファイルから自動で上書きします。
- 駐車録画中、メニュー表示中または録画ファイル再生中は写真を撮影することはできません。

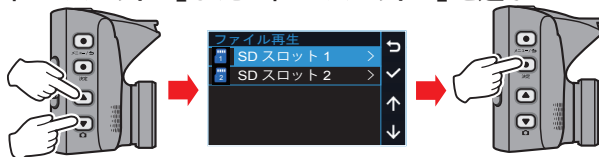
録画ファイルを再生する

本機で録画したファイルを本機で再生することができます。

1 メニューを表示して「ファイル再生」を選ぶ



2 「SDスロット1」または「SDスロット2」を選ぶ



3 再生したいフォルダを選ぶ

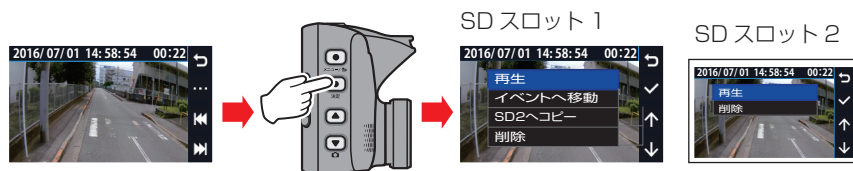


4 再生したいファイルを選ぶ



選んだファイルが再生されます。

再生中に「決定」ボタンを押すと再生メニューが表示されます。



再生/一時停止：「決定」ボタンを押すと表示中のファイルを再生/一時停止します。

イベントへ移動：「イベントへ移動」を選択し、「決定」ボタンを押すと表示中のファイルを「Event」フォルダに移動します。(25 ページ)

SD2へコピー：「SDスロット2」を選択し、「決定」ボタンを押すと表示中のファイルを「SD スロット2」のメモリーカードにコピーします。(26 ページ)

削除：「削除」を選択し、「決定」ボタンを押すと「削除しますか?」と表示され、「決定」ボタンを押すと表示中のファイルが削除されます。(27 ページ)

録画ファイルをイベントフォルダに移動する

本機で録画した常時録画ファイルをイベント(Event)フォルダに移動することができます。

1 イベントフォルダに移動したい常時録画ファイルを再生する (24 ページ)



2 再生メニューを表示する



3 「イベントへ移動」を選ぶ



- 「決定」ボタンを押した時点でイベントフォルダに移動され、ファイル選択画面に切り替わります。

録画ファイルをコピーする

本機で録画したファイルをSDスロット2へコピーできます。

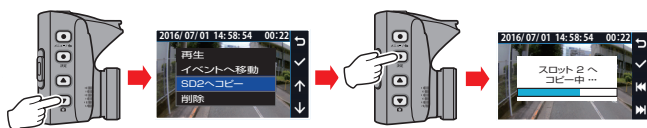
1 SDスロット2へコピーしたいファイルを再生する (24 ページ)



2 再生メニューを表示する



3 「SD2へコピー」を選ぶ



- 「決定」ボタンを押すと「スロット2へコピー中・・・」が表示されます。コピーが終了すると再生メニューが表示されます。
- スロット2へコピー中は本機の操作はできません。

録画ファイルを削除する

本機で録画したファイルを削除できます。

1 削除したいファイルを再生する (24 ページ)



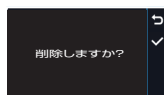
2 再生メニューを表示する



3 「削除」を選ぶ



4 確認画面 (「削除しますか?」) が表示されるので「決定」ボタンを押す



- ・「決定」ボタンを押した時点で削除され、ファイル選択画面に切り替わります。

KENWOOD ROUTE WATCHER II

KENWOOD ROUTE WATCHER II は、本機で録画した映像を表示するための パソコンツールです。

インストール

本機に付属の CD-ROM を、パソコンのディスクドライブに挿入します。Setup.exe (Windows)/KENWOOD ROUTE WATCHER_****.dmg (MAC) をダブルクリックし画面上的指示に従い、KENWOOD ROUTE WATCHER II をインストールします。(対応 OS : Microsoft Windows Windows 7/8/8.1/10 32/64bit, MAC OS X 10.7 以上)

注意事項

- インストールおよび、操作する場合にはパソコンの環境を「管理者権限」にて行ってください。

録画ファイルの再生

1 メモリーカードを本機から取り外しカードリーダー（市販品）を使用するか、USB ケーブル（市販品）を経由して本機をパソコンに接続する

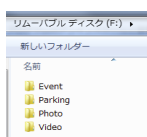
ミニ USB 端子は本機の上面にあります。USBケーブル（市販品）を経由して本機をパソコンに接続してください。



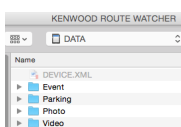
2 KENWOOD ROUTE WATCHER II を起動する

3 [開く] を押して対象フォルダを選択する

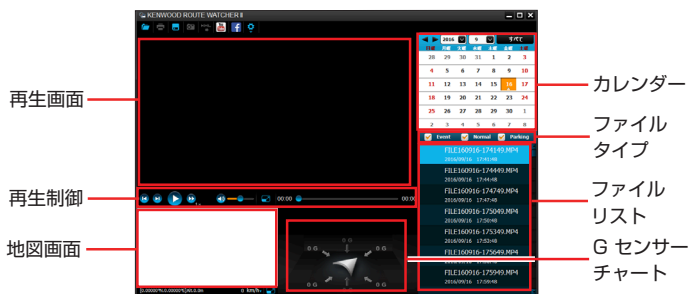
Windows



MAC



画面表示

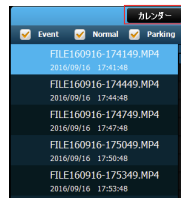


- 地図画面は、パソコンがインターネットに接続されていない場合表示されません。
- 駐車録画ファイル (Parking) を再生した場合は地図画面は表示されません。
- G センサーチャートは、車の前/後 (X)、右/左 (Y)、および、上/下 (Z) 方向の動きに関する 3 軸波形を表示します。
- 写真ファイル (Photo) の再生はできません。

- 録画ファイルが存在する日に「▲」マークが表示されます。その日付をクリックすると、録画されたファイルを表示します。
- Event: イベント記録 Normal (Video): 常時録画 Parking: 駐車録画 それぞれをクリックしてチェックがついているファイルが表示されます。



- 現在のフォルダ内のすべてのファイルを表示するには、[すべて]をクリックします。カレンダー表示に戻るには、[カレンダー]をクリックします。



4 ファイルリスト上で目的のファイルをダブルクリックして、再生を開始します

5 再生制御は以下の通りです

- / : 再生を開始、または、一時停止します。
- / : リスト上で前 / 後のファイルにスキップします。
- : 再生速度を 1/4 倍、1/2 倍、1 倍、1.5 倍、または、2 倍に変更します。
- / : 音量をミュートまたはミュート解除します。
- : 音量レベルを調整します。
- : クリックして、ビデオを全画面で再生します。(をクリックして、通常表示に戻ります。)
- : 再生の進行状況を表示します。トラックバーに沿ってポイントをクリックし、再生を別の位置に直接移動することができます。

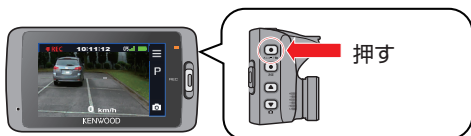
6 ツールバーを使って、以下を行うことができます

- をクリックして、再生するファイルを選択します。
- をクリックして、現在のビデオ画像をキャプチャしたプレビューを印刷します。
- をクリックして、選択したファイルをパソコン上の指定する場所にバックアップします。
- をクリックして、現在のビデオ画像をパソコン上の指定する場所にキャプチャおよび保存します。
- / をクリックして、選択したファイルを YouTube / Facebook にアップロードします。
- をクリックして、選択したファイルの GPS 情報をパソコン上の指定する場所に KML 形式でエクスポートします。
- をクリックして、設定メニューを開きます。変更または確認できる項目は次の通りです。
 - スキン変更: KENWOOD ROUTE WATCHER II のスキンの色を設定します。
 - 情報: ソフトウェアのバージョンおよび著作権情報を表示します。

設定を変更する

メニューを表示する

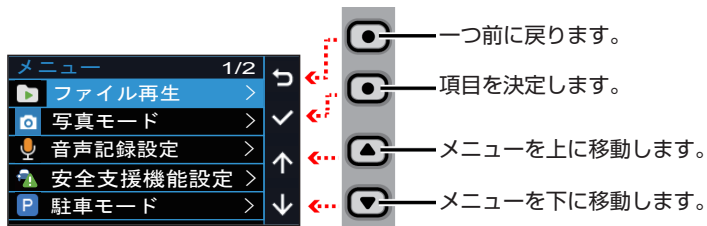
1 「メニュー/↵」ボタンを押す



メニューが表示されます。

- メニュー表示中は録画はできません。


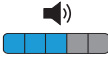
■ メニュー画面操作



* お買い上げ時の設定

メニュー		項目	機能説明
ファイル再生 (24 ページ)	SDスロット1 SDスロット2	常時* イベント 駐車 写真	フォルダとファイルを選んで再生します。 録画ファイル再生中に、ファイルの移動や 削除も行えます。
写真モード		3M* 2M	録画設定の解像度設定に連動して自動的に 切り替わります。 (3M：約300万画素 / 2M：約200万画素)
音声記録設定		オン* オフ	録画時に音声を同時に記録するかしな いかを設定します。
安全支援機能設 定 (19 ページ)	カメラ位置調整	—	カメラ位置/ボンネットの位置を調整しま す。
	車線逸脱警告	オン オフ*	走行中の車線を逸脱したときに警告音/警告 表示を出力するかしないかを設定します。
	前方衝突警告	オン オフ*	走行中、前方車両に接近したときに警告音/ 警告表示を出力するかしないかを設定しま す。
	発進遅れ警告	オン オフ*	信号などで停車中に前方車両が発進して離 れてしまったときに警告音/警告表示を出力 するかしないかを設定します。

メニュー		項目	機能説明
駐車モード	駐車モード設定	オン オフ*	<p>駐車モードを使用するかしないかを設定します。駐車モードを「オン」にすると記憶領域の設定と、メモリーカードのフォーマットをする画面が表示されます。</p> <p>必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどにバックアップしてから設定を変更してください。</p> <p>設定の操作については「本機のセットアップ」の「Step3:駐車モードをオンにする」をご覧ください。(17 ページ)</p>
	検出方法設定	動作&衝撃 検出* 衝撃検出 動作検出	<p>駐車モードの録画記録を開始する検出方法を設定します。</p> <p>衝撃検出:車両の衝撃を検出します。 動作検出:レンズ範囲内の動体を検出します。</p>
	自動起動設定	感度:高 感度:中* 感度:低 手動	<p>駐車モードを起動させるセンサー感度および常時録画に戻るときのセンサー感度を設定します。</p> <p>感度(高):駐車モードが起動しやすい 常時録画に戻りにくい</p> <p>感度(低):駐車モードが起動しにくい 常時録画に戻りやすい</p> <p>手動:手動で駐車モードを起動します。 手動で駐車モードを起動するには、「決定」ボタンを押します。</p>  <p>手動で駐車モードを起動したときは、「メニュー/ ➡ 」ボタンを2回押して解除してください。</p> 
	動作検出感度 設定	低 中* 高	<p>レンズ範囲内の人や車の動きなどを検出する感度を設定します。</p> <p>低(検出しにくい) ↔ 高(検出しやすい)</p>
	衝撃検出感度 設定	低 中* 高	<p>駐車モードのときに本機に加わる衝撃の感度:「低」(G 値:0.4G) ~ 「高」(G 値:0.2G) を設定します。</p> <p>低(検出しにくい) ↔ 高(検出しやすい)</p>

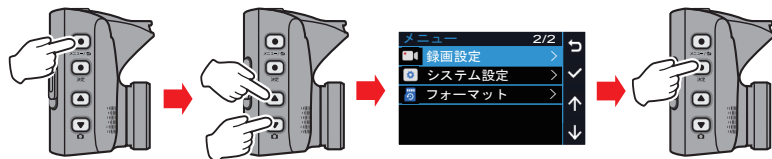
メニュー		項目	機能説明
録画設定	記録時間設定	1分 3分* 5分	常時録画(連続記録)に記録される1ファイル毎の録画時間を設定します。 ※駐車録画とイベント記録の録画時間は1ファイル約20秒固定です。
	解像度設定	1080p 1296p*	常時録画、イベント記録、駐車録画、写真の画質を設定します。
	WDR	オン* オフ	明暗差が大きなシーンでも白トビや黒つぶれを軽減する機能を設定します。
	明るさ	-1●●0●●1	記録される画像の露出(明るさ)レベルを設定します。
	衝撃検出感度設定	 低 高	イベント記録の衝撃検出の感度:「低」(G値:3.0G)～「高」(G値:0.5G)を設定します。 感度(高):検出しやすい 感度(低):検出しにくい
	情報記録設定	緯度/経度* Gセンサー値	録画ファイルに記録する情報(緯度/経度またはGセンサー値)を選択します。 記録された情報を削除することはできません。
	カスタム文字設定	—	記録される画像(動画)の右下に表示する文字を設定できます。文字は最大で12文字入力できます。左右の矢印でカーソルを一字ずつ移動し、「決定」ボタンで文字を選択、確定します。
システム設定	GPS受信状態	—	GPS信号の受信状態を表示します。 グラフのレベルが上がっているとGPS衛星を受信しています。3基以下のGPS衛星の電波しか受信できていない場合はGPSによる測位ができません。
	日付/時刻設定	自動(GPSデータ)* 手動	お買い上げ時はGMT+09:00に設定されています。そのままの設定でご利用ください。
	操作音設定	オン* オフ	警告音およびメニューの操作音を出力するかしないかを設定します。
	音量設定		動画ファイルの再生音、警告音およびメニューの操作音の音量レベルを設定します。
	LCD表示時間設定	常時表示* 10秒 1分 3分	操作をしていないときに、画面表示をオフにするまでの時間を設定します。 画面表示をオンにするには、本機のボタンのいずれかを押します。
	距離単位	メートル* マイル	距離/速度の単位を設定します。

メニュー		項目	機能説明
システム 設定	記憶域の割り 当て ※変更するとフ ォーマットされ、 すべてのデータ が消去されます。	1/3 2/3* 3/3	常時録画 / イベント記録 / 駐車録画 / 写真を保存す るための記憶領域を設定します。 必要な録画ファイルが保存されている場合は、パン コンなどにバックアップしてから設定を変更してくだ さい。(18 ページ)
	初期値に戻す ※実行するとフ ォーマットされ、 すべてのデータ が消去されます。	—	メニュー内の設定を工場出荷時の状態に戻します。 操作の前に必要なメモリーカード内のファイルを バックアップしてから操作してください。
	バージョン	—	ファームウェアのバージョンを表示します。
フォーマット		SDスロット1* SDスロット2	メモリーカードをフォーマットします。 ※実行するとフォーマットされ、すべてのファイルが 消去されます。 操作の前に必要なメモリーカード内のファイルを バックアップしてから操作してください。 (34 ページ)

* お買い上げ時の設定

記録時間の設定を変更する

1 メニューを表示して「録画設定」を選ぶ



2 「記録時間設定」を選ぶ

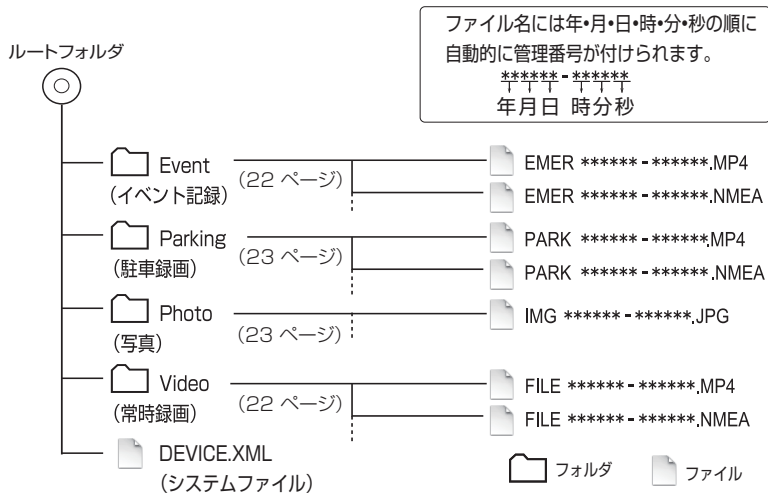


3 設定したい時間を選ぶ



フォルダ / ファイル構成について

メモリーカードに録画した録画ファイルは、項目ごとのフォルダにまとめられ、自動的に管理番号がファイルに付けられます。

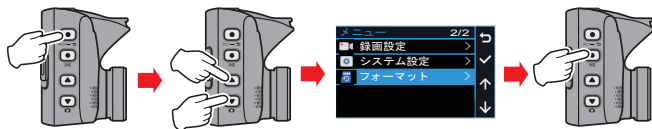


メモリーカードをフォーマットする

メモリーカードを使用する前と2週間に一度くらいを目安にメモリーカードをフォーマットしてください。必要な録画ファイルをパソコンにバックアップすることをお勧めします。

※本機には2つのSDスロットがあります。通常、使用する場合はSDスロット1にメモリーカードを挿入してください。

- 1 電源オン中に「メニュー/」ボタンを押す。メニューを表示して「フォーマット」を選ぶ

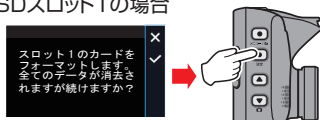


- 2 「SDスロット1」または「SDスロット2」を選ぶ



- 3 確認ダイアログが表示されるので「決定」ボタンを押す

SDスロット1の場合



故障かな?と思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス窓口へご相談ください。

共通

症状	原因	対処方法
電源がオンにならない/ シガープラグのインジケーターが点灯していない	本機に電源が供給されていない	シガープラグの差し込みと、本体の差し込みを確認してください。(14 ページ)
	ヒューズが切れている	シガープラグ内のヒューズ(2A)交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
	動作が不安定になっている	本体のリセットボタンを押してください。(10 ページ) それでも改善しない場合は、メモリーカードのフォーマットを行ってください。(34 ページ)
バッテリーが充電されない	車内が極端に低温または高温になると充電できません	車内が常温に戻るまで待ってから充電を行ってください。
GPS受信が弱い/受信できない	車両のフロントガラスに反射コーティングがされていて、GPS電波を受信しにくくなっている	車両販売店にご相談ください。
メモリーカードが認識できない	SDスロット1にメモリーカードが入っていない	付属のメモリーカードをSDスロット1に挿入してください。(16 ページ) SDスロット2はファイルバックアップ用です。
	本機で使用できないメモリーカードが挿入された。	本機は、FAT32でフォーマットされたメモリーカードが使用できます。(34 ページ)
	メモリーカードがフォーマットされていない	「メモリーカードをフォーマットする」を参照してフォーマットを行ってからご使用ください。(34 ページ)
	メモリーカードの読み込み/書き込みができなくなっている	メモリーカードをフォーマットしてください。(34 ページ) それでも症状が改善しない場合は、メモリーカードを交換してください。(16 ページ)
録画ファイルが見つからない	データ容量に空きがないため、古いファイルが上書きされた	必要な録画ファイルをパソコンにバックアップしてから録画ファイルを削除してください。
録画されたファイルの画像が鮮明でない	レンズが汚れている	柔らかい布などで乾拭きしてください。

駐車録画

症状	原因	対処方法
駐車録画ができない	駐車モードが「オン」になっていない	駐車モードを「オン」にしてください。(17 ページ)
	バッテリーが充電されていない	本機を充電してください。 (満充電時間:最大3時間)
	自動起動設定が「手動」に設定されている	自動起動設定を「手動」以外に設定するか、「決定」ボタンを押して駐車モードを手動で起動してください。(31 ページ)
	急な坂道などに駐車している	電源をオンにすると本機のGセンサーの補正を行います。 急な坂道など、電源をオンにしたときと勾配に大きな差がある場合は、駐車モードが正しく動作しないことがあります。その場合は「決定」ボタンを押して手動で録画してください。
	別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR150の配線が間違えている	配線が間違っていないか確認してください。(15 ページ)
別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR150を接続しているときにタイマー設定時間より前に録画記録が終わっている	バッテリーの電圧が別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR150のバッテリー上がり防止設定値以下になった	別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR150のタイマー時間設定を短くするか、バッテリー上がり防止設定値を下げてください。最小値まで下げても症状が改善されない場合、車両バッテリー電源が設定値電圧より低い可能性があります。車両販売店にてバッテリー電源の電圧を確認してください。(15 ページ)
画面が点きっぱなしになっている	LCD表示時間設定が「常時」に設定されている	LCD表示時間設定を設定した時間で画面がオフになるように設定してください。(32 ページ) ただし、駐車録画以外の場合も設定した時間でオフになります。
録画ファイルが見つからない	駐車録画から常時録画に切り替わった	駐車録画中衝撃を複数回感知した場合、常時録画に切り替わり、録画ファイルはVideoフォルダに保存されます。Videoフォルダを確認してください。(34 ページ)
渋滞などの低速走行中、駐車モードが起動してしまう(録画ファイルが、Parking領域に記録されている)	自動起動設定を「感度:高」に設定している	自動起動設定を「感度:低」に設定してください。それでも症状が改善しない場合は、「決定」ボタンを押して手動で録画してください。(31 ページ)
走行を開始しても駐車モードが解除されず、常時録画にならない	自動起動感度設定が「高」になっている	自動起動設定を「感度:低」に設定してください。(31 ページ)

イベント記録

症状	原因	対処方法
車両に衝撃がないときに、イベント記録の警告音が鳴り続けている	電源オン時のGセンサーの補正值が正しく設定されていない ・急な坂道を走行している ・正しい位置に取り付けるまえに電源をオンにした	本機を正しい位置に取り付けてから電源をオフ/オンしてください。(13 ページ) 平らな状態で電源をオフ/オンしてください。 「録画設定」の「衝撃検出感度設定」を「低」の方向に鳴らなくなる値まで下げてください。(32 ページ)

安全支援

症状	原因	対処方法
安全支援機能が正しく動作しない	調整がずれている	「Step4:安全支援機能の設定」にしたがって設定しなおしてください。(19 ページ)
	雨の日や夜間に走行している	雨の日、夜間など、環境により正しく動作しないことがあります。
	GPSが受信できない	GPSが受信できていないと、速度や車間距離など正しく測位できないため、機能が正しく働きません。

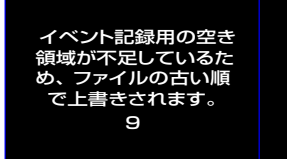

時計

症状	原因	対処方法
時計がずれる	自動設定時、標準時間設定(GMT)がズれている	標準時間設定を正しく設定してください。 日本の設定は、GMT+09:00です。(32 ページ)

ROUTE WATCHER II

症状	原因	対処方法
ROUTE WATCHER II が起動しない	管理者権限でのインストールをしていない	管理者権限でインストールしてご使用ください。(28 ページ)

メッセージ

メッセージ	対処方法
 <p>イベント記録用の空き領域が不足しているため、ファイルの古い順で上書きされます。 9</p>	<p>「記憶域の割り当て」で設定したイベント記録の記録時間、または記録ファイル数を超えて録画しようとした場合に表示されます。10秒後に上書きが開始されます。記録ファイルをバックアップして記憶域を空けてください。</p>
 <p>10:20:59 99% 100% -- km/h</p>	<p>破損やフォーマットの違いなどにより、本機では読み取れないメモリーカードを挿入しています。本機対応のメモリーカード(39 ページ)をご使用ください。</p>

FAQ(よくあるご質問)

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。「故障かなと思ったら」と合わせてこちらをご覧ください。

<http://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq/>



主な仕様

撮像素子

1/3型 340万画素CMOS

レンズ

F1.8 f=2.9mm 固定フォーカス

最大記録画角

水平:約121° 垂直:約59°

対角:約141°

液晶サイズ

2.7インチ フルカラー-TFT

記録形式

動画:H.264 (MP4)

静止画:JPEG 準拠 (1920x1080)

フレームレート

27.5fps

記録解像度

2304x1296(約300万画素)

1920x1080(約208万画素)

記録媒体

microSDHC カード Class6 以上
(4GB ~ 32GB)

microSDXC カード Class6 以上
(64GB ~ 128GB)*

*初めにフォーマットが必要です。

USBシガープラグの電源電圧

入力:DC12V/24V

出力:DC5V/1A (最大)

本体電源電圧

DC5V (miniUSBプラグ)

消費電力

2.3W (常時録画時)

外形寸法(WxH x D)

91mm x 49mm x 37mm

ブラケット取付時(H): 88mm

本体質量 microSDHCカード装着時

約104g(コード/ブラケットを除く)

動作環境

-10°C ~ +60°C

充電時は 0°C ~ +45°C

付属品

シガープラグコード(3.5m) x 1

取付ブラケット(両面テープ) x 1

microSDHCカード(16GB) x 1

CD-ROM(PC用ビューワースoft) x 1

- これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。
- microSDHCロゴはSD-3C,LLCの商標です。
- Microsoft.Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh.iMovie,Mac.Macロゴは、米国Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Googleマップは、Google Inc.の商標または登録商標です。

この装置はクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

==Konatu Description==

This is TrueTypeFont where BitmapFont is embedded.
It was confirmed to use it with Windows XP, and
Ubuntu 12.10

===licence===

This work is licensed under The MIT License.

* <http://opensource.org/licenses/mit-license.php>

====Author====

BY:MASUDA mitiya

Mail:mitimasu@gmail.com

Please use Japanese or easy peacy English.

=====
The MIT License (MIT) The MIT License (MIT)Copyright
(c) <2016> <copyright holders>

Permission is hereby granted, free of charge, to
any person obtaining a copy of this software and
associated documentation files (the "Software"), to
deal in the Software without restriction, including
without limitation the rights to use, copy, modify,

merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell
copies of the Software, and to permit persons to
whom the Software is furnished to do so, subject to
the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice
shall be included in all copies or substantial portions of
the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT
WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED,
INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES
OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR
PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT
SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS
BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER
LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT,
TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN
CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR
OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

<http://opensource.org/licenses/mit-license.php>

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

■ 保証について

保証書

この製品には、保証書を添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日より1年です。

■ 修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ・ ホームページ

<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>

- ・ JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

0120-2727-87（固定電話からはフリーダイヤル）

0570-010-114（携帯電話、PHSからはナビダイヤル）

045-450-8950（一部IP電話など）/ FAX 045-450-2308

受付時間などは裏表紙を参照してください。

■ 修理を依頼されるときは

取扱説明書または当社ホームページのFAQを参照してお調べください。それでも異常があるときは、本機の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッド・サービスが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- ・本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。(本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)
- ・本機を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

内蔵電池の交換について

電池の使用出来る時間が短くなったと感じられるときは、内蔵電池の寿命です。交換をお勧めします。内蔵電池の交換は、販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

本機を廃棄するときのご注意



Li-ion 00

充電式電池のリサイクルについて

本機に内蔵されている充電電池は、リサイクルできます。

充電電池の取りはずしは、お客様自身では行わないでください。

本機を廃棄するときは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度

下記の申込用サイトに登録してください。

<https://jdrc-omimai.sakura.ne.jp/>

今すぐ事前登録を!

本制度のご利用には事前登録が必要です。

商品パッケージにあるマーク、または下のQRコードから申込用サイトにアクセスすることができます。事前登録されないと補償金をお支払できませんので、購入後1ヵ月以内のご登録をお願い致します。



交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度とは

ドライブレコーダーのご購入者及び使用者が、ドライブレコーダーを設置した車両でレッカー搬送を伴う交通事故にあわれた場合、ドライブレコーダーの再購入費用及びその諸経費を補てんする目的で、ドライブレコーダー協議会から一律4万円の補償金が支払われる制度です。

費用負担

無し

(費用はメーカーが負担します)

買替補償金

4万円 (一律)

JDRC **ドライブレコーダー協議会** 補償金制度担当 **株式会社リムライン**
お問い合わせ **e-mail : info@jdrc.gr.jp**

〒140-0013 東京都品川区南大井6丁目3番7号 スリージェ南大井ビル4F FAX:03-5753-0086

内容

補償金の範囲

- ① ドライブレコーダーの再購入費用
- ② SDカード再購入費用
- ③ ドライブレコーダーの撤去費用
- ④ ドライブレコーダーの再設置費用
- ⑤ 交通事故証明書の発行費用
- ⑥ 補償金申請に関する資料及び物品の送付料
- ⑦ その他、上記に関する諸経費

補償金額

一律4万円

ご加入費用

無料 (費用はメーカーが負担します)

補償期間

登録日の翌日より1年間

受取人

本制度に加入しているご本人様となります。(死亡の場合は、法定相続人となります。)

対象となる交通事故

レッカー搬送を伴う自動車事故
(追突された場合、車両が盗難された場合、車両が故障された場合は除きます。)

事故時における申請資料

下記資料をご提出ください

- ① ドライブレコーダー本体
- ② ドライブレコーダーの事故映像データの記録されたSDカード
- ③ 交通事故証明書(写しでも可)
- ④ レッカー搬送の証明書類
- ⑤ 再購入された同一メーカーのドライブレコーダーのレシート
- ⑥ 補償金請求書



正しい取付け
正しい操作で
安全運転

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308
住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00
土曜: 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)
- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。